

MARM

FT Vest 米国株マックスバッファETF - 3月

3月28日時点

≫ ファンドの目的

この上場投資信託(ETF)は、約1年間(以下「ターゲットアウトカム期間」)にわたり、SPDR® S&P 500® ETF Trust (SPY)のプライスリターン(手数料および費用控除前)に連動することを目的とし、事前に定められた収益の上限まで投資家に提供する一方、最大限のバッファ(手数料および費用控除前)を提供します。

≫ ファンド概要

| | |
|-----------|-----------|
| ファンドティッカー | MARM |
| CUSIP | 33740U612 |
| iNAVティッカー | MARMIV |
| ファンド設定日 | 3/26/2024 |
| 経費率 | 0.85% |
| 主要取引所 | Choe BZX |

≫ ファンド概要

- 当ファンドは、「ターゲット・アウトカム戦略」を用いて運用されており、特定の期間(以下「ターゲット・アウトカム期間」)において、あらかじめ決められた成果を達成することを目指します。この成果は、ターゲットアウトカム期間の初日に当ファンドを保有し、ターゲットアウトカム期間の最終日まで保有し続ける投資家に対してのみ実現する可能性があります。
- 当ファンドは、SPYを原資産とするフレキシブル・エクステンジ・オプション(FLEXオプション)に実質的に全資産を投資します。FLEXオプションは、投資家が行使価格、スタイル、満期日などの主要な契約条件をカスタマイズできるオプション契約です。
 - 当ファンドは、年1回にリセットされ、新しいターゲット・アウトカム期間の初日に、新しいバッファとキャップを設けるために、新しいFLEXオプションに投資します。
 - 各ターゲット・アウトカム期間において、当ファンドはFLEXオプションのプット・オプションとコール・オプションの購入と売却からなるポートフォリオを構築します。
- 当ファンドは、事前にアップサイドキャップを少なくとも7%に設定する一方、損失に対し最大限のバッファを提供することを目指します。最初のターゲット・アウトカム期間のバッファは100%となる見込みですが、その後のターゲット・アウトカム期間のバッファの予想値は20%から100%の間となります。
 - 当ファンドが少なくとも7%のキャップを設定しながら、原資産ETFの損失に対し100%のバッファを設定できない場合、7%のキャップが設定できる最大のバッファを求めることになります。
 - 当ファンドが少なくとも7%のキャップを設定しながら、原資産ETFの損失に対し100%のバッファを設定できる場合、7%を超えるキャップを事前に求めます。
 - 最低キャップが7%でバッファが20%に満たない場合、当ファンドは最低キャップを引き下げて少なくとも20%のバッファが得られるようにします。
- ターゲットアウトカム期間が終了すると新たなターゲットアウトカム期間が始まります。ターゲットアウトカム期間の成果が実現する保証はありません。後続の各アウトカム期間のキャップは、当初のアウトカム期間とは異なる可能性があります。

≫ ファンド・サブ・アドバイザー

- Vest Financial LLC(以下「Vest」)はファンドのサブ・アドバイザーであり、ファンドのポートフォリオを管理します。
 - Vestは2012年に設立され、2016年に初めて市場に導入されたターゲット・アウトカム戦略を採用した初の投資ファンドを運用しました。

≫ パフォーマンス概要 (%)

| | 3ヶ月 | 年初来 | 1年 | 3年 | 5年 | 10年 | 設定来 |
|----------------|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| ファンド・パフォーマンス* | | | | | | | |
| 基準価額(NAV) | - | - | - | - | - | - | 0.21 |
| 市場価格 | - | - | - | - | - | - | 0.45 |
| 指数パフォーマンス** | | | | | | | |
| S&P 500® Index | - | - | - | - | - | - | 0.99 |

パフォーマンスデータは過去のもので、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではなく、現在のパフォーマンスは提示されたパフォーマンスよりも高い場合も低い場合もあります。投資リターンおよび元本価値は変動し、株式は売却または償還された場合、当初の取得価額より高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は、www.ftportfolios.com。

*基準価額(NAV)は、ファンドの純資産(資産から負債を差し引いたもの)をファンド発行口数で割ったものです。リターンは、その他に株式を取引した場合のリターンを表すものではありません。市場価格は、ファンドの基準価額が算出される時点の全米最良気配(「NBBO」)の midpoint を使用して決定されます。リターンは、1年未満の期間のものを除き、年率平均の総合リターンです。
**各指数のパフォーマンス情報は例示であり、実際のファンド・パフォーマンスを示すものではありません。指数パフォーマンスには管理手数料や売買委託手数料は含まれておらず、表示されたパフォーマンスからそのような手数料や費用は差し引かれていません。インデックスは非管理型であり、投資家はインデックスに直接投資することはできません。

FT Vest 米国株マックスバッファETF - 3月

3月28日時点

》アウトカム期間開始時の設定値

| | |
|----------------|--------------------------|
| 保有証券数 | 3 |
| シリーズ | 3月 |
| 原資産 | SPDR® S&P 500® ETF Trust |
| アウトカム期間 | 3/27/2024 - 3/21/2025 |
| ファンドキャップ率(ネット) | 9.23% (8.39%) |
| バッファ(ネット) | 100.00% (99.16%) |
| 期間開始時のファンド価額 | \$29.05 |
| ファンドキャップ値(ネット) | \$31.49 |
| 期間開始時の原資産価格 | \$518.81 |
| 原資産のキャップ値 | \$566.70 |
| バッファ開始%/原資産価値 | 0.00% / \$518.81 |
| バッファ終了%/原資産価値 | -100.00% / \$0.00 |

》現在価値

| | |
|---------------------|------------------|
| アウトカム期間終了までの日数 | 358日 |
| ファンド価額/リターン | \$29.11 / 0.20% |
| 原資産価格/リターン | \$523.07 / 0.82% |
| 残存キャップ率(ネット) | 9.01% (8.17%) |
| 実現する原資産リターンキャップ | 8.34% |
| 残存バッファ率(ネット) | 99.79% (98.96%) |
| バッファ開始までの下落率(ネット) | -0.21% (-1.04%) |
| バッファ終了を達するまでの原資産下落率 | -100.00% |
| 未実現オプション・パイオフ(ネット) | 0.61% (-0.22%) |

》上位保有10銘柄(%)

| | |
|------------------------------------|--------|
| 2025-03-21 SPDR S&P 500 ETF トラスト C | 98.67 |
| 2025-03-21 SPDR S&P 500 ETF トラスト P | 4.12 |
| 2025-03-21 SPDR S&P 500 ETF トラスト C | -3.85 |
| 2025-03-21 SPDR S&P 500 ETF トラスト C | 566.70 |

アウトカム期間開始時の設定値は、表示されたアウトカム期間の株式を保有する投資家にもみ実現される可能性があります。

パフォーマンスデータは過去のもので、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではなく、現在のパフォーマンスは提示されたパフォーマンスよりも高い場合も低い場合もあります。投資リターンおよび元本価値は変動し、株式は売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は、www.ftportfolios.com。

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料および費用を慎重に検討する必要があります。目論見書または要約目論見書入手するには、First Trust Portfolios L.P. (1-800-621-1675)に連絡するか、www.ftportfolios.com。この目論見書または要約目論見書にはファンドに関するその他情報が記載されています。投資前に目論見書または要約目論見書をよくお読みください。

リスクに関する考察

ファンドへの投資により損失を被る可能性があります。ファンドへの投資は銀行の預金ではなく、保険も保証もありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通例の仲介手数料が発生する場合があります。ファンドのリスクの詳細については、各ファンドの目論見書および追加情報説明書をご参照ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性を示すものではありません。

ファンド株式の活発な取引市場が発展または維持される保証はありません。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、非常に大規模な設定/償還単位で、権限を付与された参加者のみがファンドから直接償還することができます。ファンドの指定参加者が設定/償還注文を進めることができず、他の指定参加者が設定や償還に踏み切れない場合、ファンド株式はファンドの純資産総額に対してプレミアム/ディスカウントで取引され、場合によっては上場廃止に直直し、ビッド/アスク・スプレッドが拡大する可能性があります。

新しいバッファは各ターゲット・アウトカム期間の最初に設定され、市場の実勢に左右されます。その結果、バッファはターゲット・アウトカム期間ごとに増減する可能性があり、ターゲット・アウトカム期間が連続して同じになることはほとんどありません。

Flexible EXchange Options (以下「FLEXオプション」)を使用して「ターゲット・アウトカム戦略」を採用するファンドには、他の多くの伝統的な投資商品とは異なる特徴があり、すべての投資家に適切であるとは限りません。ターゲット・アウトカムファンドが損失をバッファする戦略で成功する保証はありません。A-株主は投資額の全額を失う可能性があります。投資家がファンドの目論見書に定義されたターゲット・アウトカム期間(「ターゲット・アウトカム期間」)の初日以降に株式を購入した場合、またはターゲット・アウトカム期間の終了前に株式を売却した場合、ファンドが提供しようとするバッファが利用できない可能性があります。

新しいキャップは各ターゲット・アウトカム期間の最初に設定され、市場の実勢に左右されます。そのため、キャップはターゲット・アウトカム期間ごとに増減する可能性があり、ターゲット・アウトカム期間が連続して同じになることはほとんどありません。

目標成果ファンドは、キャップ率を超える利益には参加しません。投資家がターゲット・アウトカム期間開始時の設定値(ネット)を超えてファンドを購入した場合、その投資家がファンドの株式から投資利益を得ることはほとんどない可能性があります。

各対象アウトカム期間の終了時には、原資産ETFの現在価格に基づいて新たなキャップとバッファが設定されるため、複数の対象アウトカム期間を通じてファンド株式を保有する投資家は、長期にわたって原資産ETFに匹敵する利益を得ることができなかつたり、過去の対象アウトカム期間の損失を取り戻すことができず、原資産ETFの損失を上回る損失を被る可能性があります。

設定および償還の全部または一部が現物ではなく現金で行われるファンドは、節税効果が低い可能性があります。

ファンドは、取引相手がその義務を履行しないことにより、ファンドに大きな金融損失をもたらすリスクを負う可能性があります。

現在市況リスクとは、特定の投資対象またはファンドの株式全般が、現在の市況により値下がりするリスクのことです。インフレに対抗する手段として、連邦準備制度理事会(FRB)および特定の外国の中央銀行は金利を引き上げており、今後も引き上げる見込みであるほか、FRBは以前に実施した量的緩和を撤回する意向を表明しています。最近および将来起こりうる銀行の倒産は、より広範な銀行業界や市場全般を混乱させ、金融機関や経済全体に対する信用を低下させる可能性があり、また市場のボラティリティを高め、流動性を低下させる可能性もあります。その他、ヨーロッパではロシアとウクライナの間で、中東ではイスラエルとハマスその他の武装勢力の間で武力紛争が続いており、ロシア、ヨーロッパ、中東、アメリカの市場において、重大な市場の混乱やボラティリティの低下を引き起こしており、今後も引き起こす可能性があります。このような敵対行為や制裁措置は、ファンドのパフォーマンスや流動性だけでなく、特定のファンド投資にも大きな影響を及ぼしており、今後もその可能性があります。COVID-19の世界的大流行、あるいは将来の公衆衛生上の危機、およびそれに続く政府機関や中央銀行による政策は、世界の金融市場に大きな変動と不確実性をもたらし、今後ももたらし続ける可能性があり、世界の成長見通しにマイナスの影響を与えます。

ファンドはサイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けます。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加的なコンプライアンス費用、及び/または金融損失を被る可能性があります。

FLEX オプションの取引には、有価証券に直接投資する場合とは異なるリスク、またはそれ以上のリスクがあります。ファンドが特定のFLEXオプションのポジションから大幅な下落を経験する可能性があり、特定のFLEXオプションのポジションは無価値になる可能性があります。FLEX オプションに流動的な流通取引市場が存在するという保証はなく、FLEX オプションは取引所オプションよりも流動性が低い可能性があります。

FLEX オプションは相関関係のリスクを負っており、FLEX オプションの価値はボラティリティが高く、短期間に大きく変動する可能性があります。FLEX オプションは、その満期日においてのみ権利行使価格で行使可能となります。満期日前の FLEX オプションの価値は、市場価格またはその他の公知の価格決定方法に基づいて決定されます。ファンド・アドバイザーが保有銘柄情報の時価を決定する場合がありますが、この場合、アドバイザーの判断が必要となり、ミスプライスや不適切な評価のリスクがあります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、ボラティリティに大きな影響を与える可能性のある1つまたは複数のインデックスまたはモデルの構成銘柄となる場合があります。

情報技術企業は、急速に変化するテクノロジー、短い製品ライフサイクル、熾烈な競争、積極的な価格設定と利益率の低下、特許・著作権・商標保護の喪失、周期的な市場パターンの進化する業界標準と規制、頻繁な新製品の導入など、特定のリスクにさらされています。

時価総額の大きい企業は、市場全体よりも成長速度が遅い可能性があります。

次ページのその他のリスクをご覧ください。

FT Vest 米国株マックスバッファETF - 3月

3月28日時点

リスクに関する考察(続き)

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオ・マネジャーは、望ましい結果をもたらさない可能性のある投資手法やリスク分析を適用します。

市場リスクとは、特定の証券やファンドの株式全般が値下がりするリスクのことです。証券は、一般的な経済情勢、政治的な出来事、規制や市場の動向、金利の変化、証券価格の動向の認識などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式が値下がりしたり、他の投資を下回る可能性があります。また、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他公衆衛生上の問題、景気後退、自然災害、その他の事象など、地域的、地域的、世界的な事象がファンドに重大な悪影響を及ぼす可能性があります。

ファンドは、マーケットメーカーの数が限られているためにファンド株式の市場が活発でない可能性があるなど、多くの市場取引リスクに直面しています。マーケットメイカーまたは認定参加者が市場ストレス時に役割を縮小したり退出することを決定した場合、ファンドのポートフォリオ証券の基礎的価値とファンドの市場価格との関係を維持する裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

大口の資金流入や資金流出は、新規ファンドのマーケット・エクスポージャーに一定期間影響を与える可能性があります。

非分散型に分類されるファンドは、資産の比較的高い割合を限られた発行体に投資する可能性があります。その結果、ファンドがこれらの発行体の1つまたは複数に影響を及ぼす単一の経済的または規制上の不利な事象の影響を受けやすくなり、ボラティリティが高くなり、特定の発行体に集中する可能性があります。

ファンドおよびファンド・アドバイザーは、統制や手続きを通じて様々な運用リスクの軽減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドではカストディを含む様々なサービスを第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や障害が発生した場合、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動しやすく、オプションの効果的な利用は、そうすることが望ましいと思われる時期にオプション・ポジションを終了させるファンドの能力にかかっています。ファンドが特定の時期に、または許容できる価格で決済取引を行える保証はありません。

ファンドの株式の市場価格は、一般に、ファンドの純資産総額(以下「基準価額」)の変動および取引所における株式の相対的な需給に応じて変動し、ファンドのインベストメント・アドバイザーは、株式が基準価額を下回る、または基準価額(NAV)以上で取引されるかどうかを予測することはできません。

単一のアセットクラス、国、地域、産業、またはセクターに大きなエクスポージャーを持つファンドは、広範に分散されたファンドよりも、経済や政治の不利な展開の影響をより大きく受ける可能性があります。

ターゲット・アカム アウトカム・ファンドの投資戦略は、ファンドがFLEXオプションに組み入れた最初の日に株式を購入し、ターゲット・アカム アウトカム期間終了時にFLEXオプションが期限切れとなるまで保有した場合のリターン(上限あり)を実現するよう設計されています。

適用される税法上、登録投資会社(RIC)としての資格を得ようとするファンドが、ある年数においてその資格を得られなかった場合、そのファンドは普通法人として課税されることになります。ファンドのオプション戦略を含め、ファンドが投資する可能性のある証券の連邦所得税の取り扱いが明確でない場合や、内国歳入庁による再特定の対象となる場合があります。RICに適用される税務上の要件を遵守することは、投資の税務上の特徴付けやそのような投資からの収入の税務処理が内国歳入庁によって争われた場合、より困難になる可能性があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止されることがあります。ファンドが取引所の相場を維持するための要件が引き続き満たされる、または変更されないという保証はありません。

ETFを参照するFLEXオプションに投資するファンドには、ETFの株式を保有することによるリスクと、参照するETFが投資する商品の種類によるリスクがあります。単一のアセットクラス、国、地域、産業、またはセクターに集中投資している原資産ETFは、市場全体よりも不利な事象の影響を受ける可能性があります。

ETFを参照するFLEXオプションに投資するファンドは、株式市場へのエクスポージャーを持ちます。株式は短期間または長期間に大きく値下がりすることがあり、そのような値下がりには株式市場全体で発生することもあれば、特定の国、企業、産業、または市場のセクターのみで発生することもあります。

First Trust Advisors L.P.はファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.はファンドの販売会社であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。

本情報は、特定の個人に対する投資推奨や助言を意図したものではありません。本情報を提供することにより、ファースト・トラストは、ERISA、内国歳入法、その他いかなる規制の枠組みにおいても、受託者の立場で助言を行うことを約束するものではありません。金融の専門家は、投資リスクを独自に評価し、顧客にとって投資が適切かどうかを判断する際に独自の判断を下す責任があります。

定義

S&P500®指数は、米国の大型株式市場のパフォーマンスを測定するために使用される500社からなる非管理指数です。ネット - 委託手数料、売買手数料、税金、ファンドの運用報酬に含まれない特別経費を除く、手数料および費用後の金額。参照資産 - ファンドがエクスポージャーを提供し、FLEX オプション価格のベースとなる原資産 ETF。ターゲットアウトカム期間 - FLEX オプションが購入されてから満期を迎えるまでの期間。ファンドキャップ率 - ターゲット・アウトカム期間の終了時にファンドが提供できる最大リターン。バッファ - ファンドがターゲットアウトカム期間の初日から最終日まで株式を保有し続ける際に回避できる下落率。ファンド開始時のファンド基準価額(NAV) - ファンドがターゲットアウトカムアウト期間開始時に実現できる最大リターン。ファンドキャップ値(NAV) - ファンドがターゲットアウトカムアウト期間終了時に実現できる最大リターン。原資産開始時の設定値(ネット) - ファンドが最大キャップを実現できる場合の、ターゲットアウトカムアウト期間終了時に実現できる原資産の価格。原資産のキャップ値(ネット) - ファンドがターゲットアウトカムアウト期間終了時にファンドが達成できる最大値。バッファ開始/バッファ終了 - バッファが防壁しようとする、手数料および費用前の原資産の価格リターンに対する損失の範囲を示しています。バッファ開始%/バッファ終了%-バッファ開始とバッファ終了を引き起こす原資産価格を表しています。アウトカム期間終了までの残り日数 - アウトカム期間の終了までの残り日数。ファンドの価値/リターン - アウトカム期間開始時以降のファンドの価値と価格リターン。原資産価格/バリュエーション・リターン - アウトカム期間の開始時以降の原資産の価格とリターン。残存キャップ(Remaining Cap) - ファンドの価値に基づき、アウトカム期間終了時まで保有した場合の潜在的な最大リターン。キャップを達するまでの原資産上昇率(%) - ファンドが残存キャップのリターンを実現するために現在必要な原資産のリターン。残存バッファ率 - ファンドが提示したバッファの現在残存額。バッファ開始までの下落率 - ファンド価値に基づき、バッファが発動するまでのファンドの損失許容範囲。

バッファ終了までの原資産下落率(%) - 原資産の現在価値からバッファ終了までの原資産下落率。未実現オプション・パイオフ - ファンドの価値に基づき、現在の原資産価格が変わらないと仮定してターゲット・アウトカム期間開始時の設定値まで保有した場合の、手数料および費用控除前のファンドの潜在的な投資成果。これは、ファンドのバッファ幅を形成する基礎となるオプション・ポジションの本源的価値によるものです。

Target Outcome登録商標はVest Financial LLCの登録商標です。

当ファンドは、SPDR® S&P 500® ETF Trust、PDR、またはStandard & Poor's®(以下、これらの関連会社を併せて「コーポレート」といいます)がスポンサー、保証、販売、または販売促進を行っているものではありません。コーポレートは、ファンドまたはFLEXオプションに関する説明および開示の合法性もしくは適合性、または正確性もしくは適切性について意見を述べるものではありません。コーポレートは、明示または黙示を問わず、ファンドまたはFLEXオプションへの投資の推奨性、またはSPDR® S&P 500® ETF Trustを利用することによりファンドまたはFLEXオプション、株主またはその他の個人もしくは団体が得られる結果について、いかなる表明または保証も行いません。コーポレートは、ファンドまたはFLEXオプションの運用、管理、マーケティングまたは取引に関して、いかなる責任も負いません。

>> Fund Objective

This exchange-traded fund seeks to provide investors with returns (before fees and expenses) that match the price return of the SPDR® S&P 500® ETF (“SPY” or “underlying ETF”), up to a predetermined upside cap, while seeking to provide the maximum available buffer (before fees and expenses) against potential underlying ETF losses over an approximate period of one year.

>> Fund Facts

| | |
|---------------------|-----------|
| Fund Ticker | MARM |
| CUSIP | 33740U612 |
| Intraday NAV | MARMIV |
| Fund Inception Date | 3/26/24 |
| Expense Ratio | 0.85% |
| Primary Listing | Cboe BZX |

>> Fund Description

- >> The FT Vest U.S. Equity Max Buffer ETF – March is managed using a “Target Outcome Investments® strategy” which seeks to produce a pre-determined investment outcome during a specified time period (the “Target Outcome Period”) based on the performance of the underlying reference asset. The outcome may only be realized for an investor who holds shares on the first day of the Target Outcome Period and continues to hold them on the last day of the Target Outcome Period.
- >> The fund invests substantially all of its assets in FLEXible EXchange® Options (“FLEX Options”) that reference the price performance of SPY. FLEX Options are customized options contracts that provide investors the ability to customize key contract terms, such as exercise prices, styles and expiration dates.
 - The fund resets annually on the first day of each new Target Outcome Period by investing in a new set of FLEX Options that provide the buffer and cap for the new Target Outcome Period.
 - For each Target Outcome Period, the fund will construct a portfolio of purchased and written put and call FLEX Options.
- >> The fund seeks to provide the maximum available buffer against losses while setting the predetermined upside cap of at least 7%. The buffer for the initial Target Outcome Period is expected to be 100%, however, the expected range of the buffer for future Target Outcome Periods is between 20% and 100%.
 - If the fund is not able to set the buffer against 100% of the underlying ETF losses while setting a cap of at least 7%, then it would seek the maximum buffer that allows for a cap of 7%.
 - If the fund can set the buffer against 100% of the underlying ETF losses while setting a cap of at least 7%, it will seek a predetermined cap that exceeds 7%.
 - If the 7% minimum cap produces a buffer of less than 20%, the fund will seek to lower the minimum cap to provide a buffer of at least 20%.
- >> After the conclusion of the Target Outcome Period, another will begin. There is no guarantee that the outcomes for a Target Outcome Period will be realized. The cap for each subsequent outcome period will likely differ from the initial outcome period.

>> Fund Sub-Advisor

- >> Vest Financial LLC (“Vest”) is the sub-advisor to the fund and will manage the fund’s portfolio.
 - Vest was founded in 2012 and managed the first investment funds to use a Target Outcome Investments® strategy which were first introduced to the market in 2016.

>> Performance Summary (%)

| | 3 Month | YTD | 1 Year | 3 Year | 5 Year | 10 Year | Since Fund Inception |
|----------------------------|---------|-----|--------|--------|--------|---------|----------------------|
| Fund Performance* | | | | | | | |
| Net Asset Value (NAV) | — | — | — | — | — | — | 0.21 |
| After Tax Held | — | — | — | — | — | — | 0.21 |
| After Tax Sold | — | — | — | — | — | — | 0.12 |
| Market Price | — | — | — | — | — | — | 0.45 |
| Index Performance** | | | | | | | |
| S&P 500® Index | — | — | — | — | — | — | 0.99 |

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.com.

*NAV returns are based on the fund’s net asset value which represents the fund’s net assets (assets less liabilities) divided by the fund’s outstanding shares. **After Tax Held** returns represent return after taxes on distributions. Assumes shares have not been sold. **After Tax Sold** returns represent the return after taxes on distributions and the sale of fund shares. Returns do not represent the returns you would receive if you traded shares at other times. **Market Price** returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price (“NBBO”) as of the time that the fund’s NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative. After-tax returns are calculated using the historical highest individual federal marginal income tax rates and do not reflect the impact of state and local taxes. Actual after-tax returns depend on the investor’s tax situation and may differ from those shown. The after-tax returns shown are not relevant to investors who hold their fund shares through tax-deferred arrangements such as 401(k) plans or individual retirement accounts.

**Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

>> Outcome Period Values

| | |
|--|--------------------------|
| Number Of Holdings | 3 |
| Series | March |
| Reference Asset | SPDR® S&P 500® ETF Trust |
| Outcome Period | 3/27/2024 - 3/21/2025 |
| Fund Cap (Net) | 9.23% (8.39%) |
| Buffer (Net) | 100.00% (99.16%) |
| Starting Fund Value | \$29.05 |
| Fund Cap Value | \$31.49 |
| Starting Reference Asset Value | \$518.81 |
| Reference Asset Cap Value | \$566.70 |
| Buffer Start % / Reference Asset Value | 0.00% / \$518.81 |
| Buffer End % / Reference Asset Value | -100.00% / \$0.00 |

>> Current Values

| | |
|---|------------------|
| Remaining Outcome Period | 358 days |
| Fund Value/Return | \$29.11 / 0.20% |
| Reference Asset Value/Return | \$523.07 / 0.82% |
| Remaining Cap (Net) | 9.01% (8.17%) |
| Reference Asset Return to Realize the Cap | 8.34% |
| Remaining Buffer (Net) | 99.79% (98.96%) |
| Downside Before Buffer (Net) | -0.21% (-1.04%) |
| Reference Asset to Buffer End | -100.00% |
| Unrealized Option Payoff (Net) | 0.61% (-0.22%) |

>> Top Holdings (%)

| | |
|--|-------|
| 2025-03-21 SPDR® S&P 500® ETF Trust C 5.19 | 98.67 |
| 2025-03-21 SPDR® S&P 500® ETF Trust P 518.81 | 4.12 |
| 2025-03-21 SPDR® S&P 500® ETF Trust C 566.70 | -3.85 |

The Outcome Period Values may only be realized for an investor who holds shares for the outcome periods shown.

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.com.

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Portfolios L.P. at 1-800-621-1675 or visit www.ftportfolios.com to obtain a prospectus or summary prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus or summary prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus and Statement of Additional Information for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

There can be no assurance that an active trading market for fund shares will develop or be maintained.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

A new buffer is established at the beginning of each Target Outcome Period and is dependent on prevailing market conditions. As a result, the buffer may rise or fall from one Target Outcome Period to the next and is unlikely to remain the same for consecutive Target Outcome Periods.

A fund that uses FLEXible EXchange Options ("FLEX Options") to employ a "target outcome strategy" has characteristics unlike many other traditional investment products and may not be appropriate for all investors. There can be no guarantee that a target outcome fund will be successful in its strategy to buffer against losses. A shareholder may lose their entire investment. In the event an investor purchases shares after the first day of the target outcome period defined in the fund's prospectus ("Target Outcome Period") or sells shares prior to the end of the Target Outcome Period, the buffer that a fund seeks to provide may not be available.

A new cap is established at the beginning of each Target Outcome Period and is dependent on prevailing market conditions. As a result, the cap may rise or fall from one Target Outcome Period to the next and is unlikely to remain the same for consecutive Target Outcome Periods.

A target outcome fund will not participate in gains beyond the cap. In the event an investor purchases fund shares after the first day of a Target Outcome Period and the fund has risen in value to a level near the cap, there may be little or no ability for that investor to experience an investment gain on their fund shares; however, the investor will remain vulnerable to downside risk.

Since at the end of each Target Outcome Period a new cap and buffer are established based on the then current price of the underlying ETF, an investor who holds fund shares through multiple Target Outcome Periods may fail to experience gains comparable to the underlying ETF over time or recapture losses from prior Target Outcome Periods and may have losses that exceed those of the underlying ETF.

A fund that effects all or a portion of its creations and redemptions for cash rather than in-kind may be less tax-efficient.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. As a means to fight inflation, the Federal Reserve and certain foreign central banks have raised interest rates and expect to continue to do so, and the Federal Reserve has announced that it intends to reverse previously implemented quantitative easing. Recent and potential future bank failures could result in disruption to the broader banking industry or markets generally and reduce confidence in financial institutions and the economy as a whole, which may also heighten market volatility and reduce liquidity. Ongoing armed conflicts between Russia and Ukraine in Europe and among Israel, Hamas and other militant groups in the Middle East, have caused and could continue to cause significant market disruptions and volatility within the markets in Russia, Europe, the Middle East and the United States. The hostilities and sanctions resulting from those hostilities have and could continue to have a significant impact on certain fund investments as well as fund performance and liquidity. The COVID-19 global pandemic, or any future public health crisis, and the ensuing policies enacted by governments and central banks have caused and may continue to cause significant volatility and uncertainty in global financial markets, negatively impacting global growth prospects.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Trading FLEX Options involves risks different from, or possibly greater than, the risks associated with investing directly in securities. A fund may experience substantial downside from specific FLEX Option positions and certain FLEX Option positions may expire worthless. There can be no guarantee that a liquid secondary trading market will exist for the FLEX Options and FLEX options may be less liquid than exchange-traded options.

FLEX Options are subject to correlation risk and a FLEX Option's value may be highly volatile, and may fluctuate substantially during a short period of time. FLEX Options will be exercisable at the strike price only on their expiration date. Prior to the expiration date, the value of the FLEX Options will be determined based upon market quotations or other recognized pricing methods. In the absence of readily available market quotations for fund holdings, a fund's advisor may determine the fair value of the holding, which requires the advisor's judgement and is subject to the risk of mispricing or improper valuation.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

Information technology companies are subject to certain risks, including rapidly changing technologies, short product life cycles, fierce competition, aggressive pricing and reduced profit margins, loss of patent, copyright and trademark protections, cyclical market patterns, evolving industry standards and regulation and frequent new product introductions.

Large capitalization companies may grow at a slower rate than the overall market.

Please see additional risks on the following page.

Risk Considerations (continued)

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Large inflows and outflows may impact a new fund's market exposure for limited periods of time.

A fund classified as "non-diversified" may invest a relatively high percentage of its assets in a limited number of issuers. As a result, a fund may be more susceptible to a single adverse economic or regulatory occurrence affecting one or more of these issuers, experience increased volatility and be highly concentrated in certain issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

A target outcome fund's investment strategy is designed to deliver returns if shares are bought on the first day that the fund enters into the FLEX Options and are held until the FLEX Options expire at the end of the Target Outcome Period subject to the cap.

If, in any year, a fund which intends to qualify as a Registered Investment Company (RIC) under the applicable tax laws fails to do so, it would be taxed as an ordinary corporation. The federal income tax treatment of the securities in which a fund may invest, including a fund's option strategy, may not be clear or may be subject to recharacterization by the Internal Revenue Service. It could be more difficult to comply with the tax requirements applicable to RICs if the tax characterization of investments or the tax treatment of the income from such investments were successfully challenged by the Internal Revenue Service.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

A fund that invests in FLEX Options that reference an ETF is subject to certain of the risks of owning shares of an ETF as well as the risks of the types of instruments in which the reference ETF invests.

An underlying ETF with investments that are concentrated in a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by adverse events than the market as a whole.

A fund that invests in FLEX Options that reference an ETF has exposure to the equity securities market. Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. By providing this information, First Trust is not undertaking to give advice in any fiduciary capacity within the meaning of ERISA, the Internal Revenue Code or any other regulatory framework. Financial professionals are responsible for evaluating investment risks independently and for exercising independent judgment in determining whether investments are appropriate for their clients.

Definitions

The **S&P 500® Index** is an unmanaged index of 500 companies used to measure large-cap U.S. stock market performance. **Net** - After fees and expenses, excluding brokerage commissions, trading fees, taxes and extraordinary expenses not included in the Fund's management fee. **Reference Asset** - The underlying ETF which the fund provides exposure to, and which the FLEX Options prices are based on. **Target Outcome Period** - The period between when the FLEX Options were purchased and when they will expire. **Fund Cap** - Maximum possible return that the fund can provide at the end of the Target Outcome Period. **Buffer** - The amount of downside protection the fund seeks to provide if held for the full Target Outcome Period. **Starting Fund Value** - The Net Asset Value (NAV) of the Fund at the start of the Target Outcome Period. **Fund Cap Value** - The maximum value of the Fund at the end of the Target Outcome Period if the fund realizes its maximum cap. **Starting Reference Asset Value** - The value of the reference asset at the end of the Target Outcome Period if the fund realizes its maximum cap. **Reference Asset Cap Value** - The value of the reference asset at the end of the Target Outcome Period if the fund realizes its maximum cap. **Buffer Start / Buffer End** - The percent shown represents the range of losses on the price return of the reference asset, before fees and expenses, that the buffer seeks to protect against. The values represent the reference asset values that trigger the start and end of the Buffer range. **Remaining Outcome Period** - The number of days remaining until the end of the Outcome Period. **Fund Value/Return** - The value and the price return of the Fund since the start of the Outcome Period. **Reference Asset/Value Return** - The value and the price return of the Reference Asset since the start of the Outcome Period. **Remaining Cap** - Based on the Fund's value, the best potential return if held to the end of the Outcome Period, assuming the Reference Asset meets or exceeds the Reference Asset Cap Value. **Reference Asset Return to Realize the Cap** - The return of the Reference Asset currently needed in order for the Fund to realize the return of the Remaining Cap. **Remaining Buffer** - The current amount of the Fund's stated buffer remaining. **Downside Before Buffer** - Based on the Fund value, the amount of the Fund loss that can be incurred prior to the buffer taking effect. **Reference Asset to Buffer End** - The loss of the Reference asset from its current value to the Buffer End Reference Asset Value. **Unrealized Option Payoff** - Based on the Fund's value, the potential investment outcome of the Fund, before fees and expenses, if held to the end of the Target Outcome period assuming the current Reference Asset Value remains unchanged. This is due to the intrinsic value of the underlying options positions that create the Fund's buffer range.

The Target Outcome registered trademarks are registered trademarks of Vest Financial LLC.

The fund is not sponsored, endorsed, sold or promoted by SPDR® S&P 500® ETF Trust, PDR, or Standard & Poor's® (together with their affiliates hereinafter referred to as the "Corporations"). The Corporations have not passed on the legality or suitability of, or the accuracy or adequacy of, descriptions and disclosures relating to the fund or the FLEX Options. The Corporations make no representations or warranties, express or implied, regarding the advisability of investing in the fund or the FLEX Options or results to be obtained by the fund or the FLEX Options, shareholders or any other person or entity from use of the SPDR® S&P 500® ETF Trust. The Corporations have no liability in connection with the management, administration, marketing or trading of the fund or the FLEX Options.

ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではなく、記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2024061208

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp